



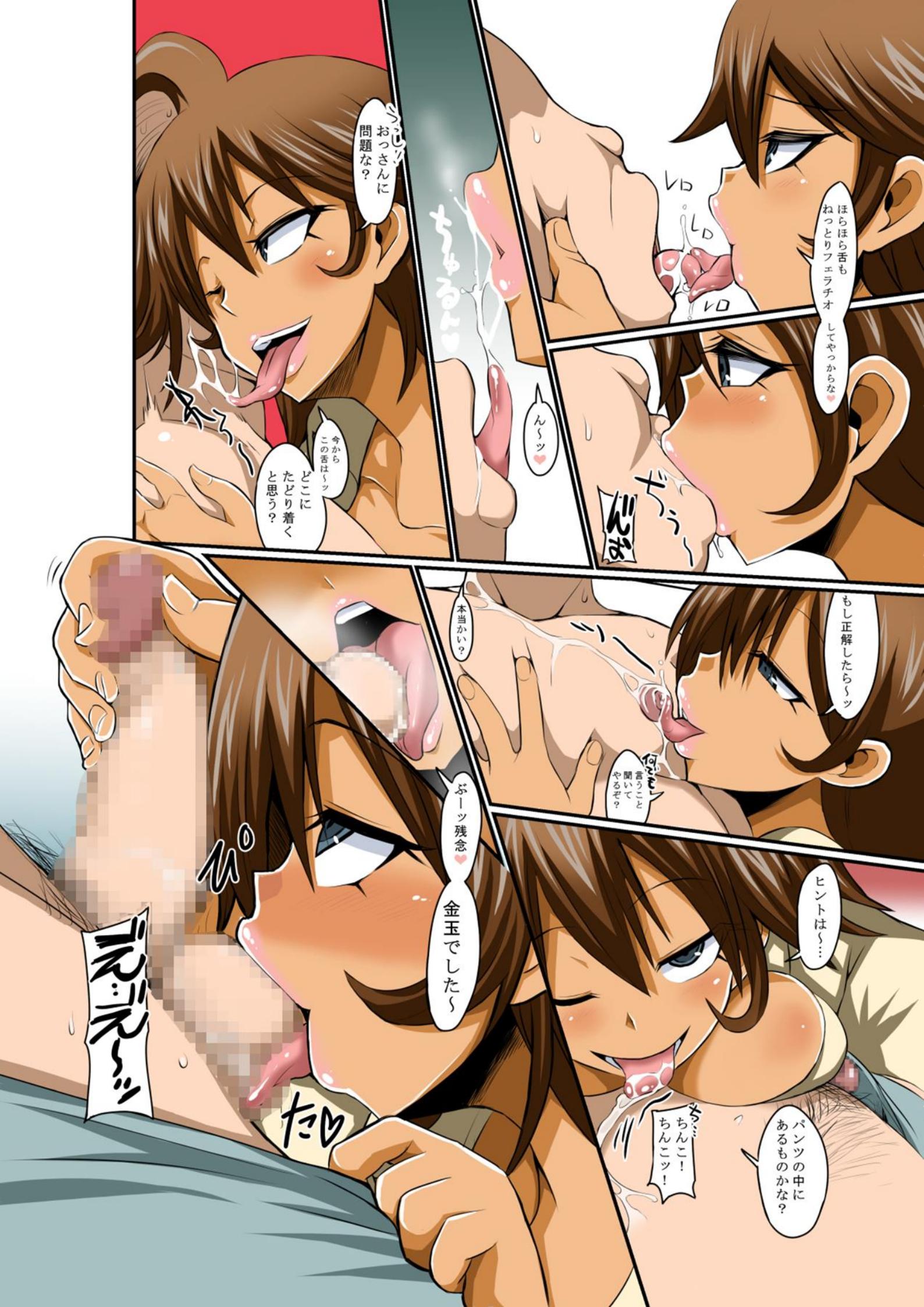
大人向け

マンガの最後にちょっとだけ
オレのエッチな差分あるから

どつちをおかずにして
いいからな？んじやそろそろ
おっさんの世話しにいくかッ！

まだ、
あとで
会おうはー！









しかしすぐにフニヤチン
になるのがなあ…勿体ねえ
でもまだいけるよな?

あ…あかねちゃんの
力でなんとか…

おじさんのちんぽ
復活させてくれれば

しそうがねえ
おっさんだな
♥

口でほぐして
やるからよお

ビンビン勃起チンポに
ちやんとなれよな？

ふい～…ツ
こんなもんか？

おひよ♪ほ♪
こりや良い♥
舌が絡み付いて
たまらんッ！

むくむく。

へへうより♥











TO BE
CONTINUED...

おまけ
おめで



「よお！待たせたなッ
そんじやチンポマッサージ
始めてやつからな？ししッ」

「よ…よろしくたのむよ
赤音ちやんッ」

にゅ
す

『そんじや最初はゆつくり
挟んでほぐしてやるかな？』

『あかねちゃんのおっぱいで
汚チンポを犯しまくってッ！』

「それツ！」

「おゴーおツ！」



「ハハッ！ 何だその声？
オレの おっぱいの破壊力
にびっくりしちまつたか？」

「い…いやあすごいパイ圧で一瞬
チンポに電気走っちゃって…（汗）」

「ツしゃ！ 予定変更ツ！
おっさん早漏ぽいから
パイズリ射精記録更新
してやるつと♪」

「そそそんなんあ：あ♥ぐあ♥
おっぱいバイブすご「ひ♥ぎイ♥」

「あれ？ おっさん顔が
引きつってるけどマジ
もう射精しそうなの？」

「そ……そんないど……な……
あ……いぎ……ヤバイヤバイイツ！」

「いいぜ♥おっさんザーメン
オレの顔面に思う存分に
顔射マークイングしてくれ♥」

「い…いいのかい？おじさ…んの
精子受け取ってくれるのか…い？」

「てゆうかさ？ 実はオレも
欲しくなつてきちゃつてな♪
もうパイズリ止めねえから」

「あ♥あかねちゃんが欲しがつて
くれるなんて♥♥あ♥あ♥あ♥」

「ふふ…もう限界みたいだな
ここはひとつ…女の子っぽく
最後は振舞ってやるかなあ♪」

「うん！おじさんのせえし甘え口調で
求めてツ！もとめてエツツ…!!」



『出して出して♥パイズリセックスで
おっさんチンポからオレを孕ませる
勢いでザーメンどびゅどびゅして♥♥』

「出すよ！おじさんの子種ザーメン
たっぷりぶっかけるよ…お…ヴお！」

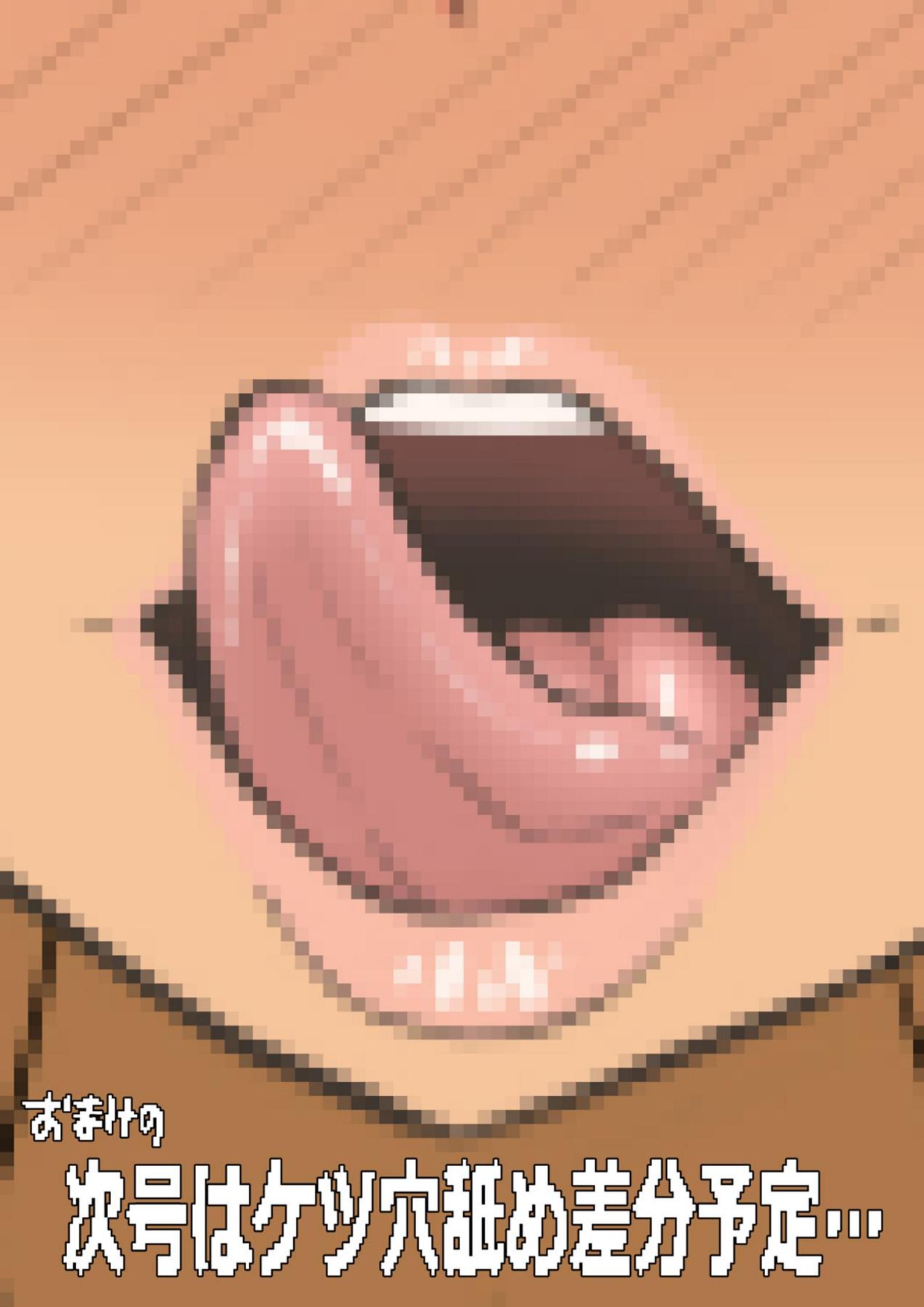
『わ♥わ♥わ♥すッげえ
精子シャワーだこれ♪』

『イグウウツ』

『こりゃ洗つてもしづら
精子ソープのあおくせえ
匂い取れそうに無いな♥』

『今度はちゃんと孕ませ
中出しSEXで赤音ちゃんの
赤ちゃんおじさんと作ろうね♥』

さわり♥



おまけ④

次号はケツ丸輔め吉分予定…



